

前略 会員の皆様へ（第一信）

WSFジャパン代表 三ツ谷洋子

お変わりありませんか。いつもWSFジャパンへのご支援、ありがとうございます。今号から、皆様あてのお手紙を差し上げることにいたしました。ふだんお目にかかる機会がない皆様、私自身の女性スポーツ振興に対する考え方や、活動にまつわる裏話などを、お伝えしたいと思います。

さて、今回は「もっと女性の登用を」というテーマで、二つの出来事をお伝えします。

その一「広島アジア大会の日本選手団には、女性役員がいなかった」。皆様、覚えていますか？前回の北京大会では、小野清子さん（WSFジャパン会員、参議院議員）が初の女性役員として大会に参加しました。ところが今回はゼロ。女性スポーツ振興の視点から見ると一歩後退。とても残念です。選手団の編成をしたJOC（日本オリ

ンピック委員会）に抗議すべきでした。九月二十六日の女子レスリングのパーティ（世界選手権六連覇祝勝会）で小野さんにお会いしたら「私たちが女性（が）黙っていると、すぐこうなんだから」と嘆いていました。（私もガツカリです）

その二「もっと女性を、といっていくるようになった男性たち」。私が仕事（スポーツビジネスのコンサルティングが本業です）で身を置くスポーツ産業界、ボランティアとして様々な肩書で接するスポーツ界は、いずれも昔ながらの典型的な男性主導型の社会です。そこでお目にかかる男性たちが「もっと女性を入れましょう」と、よく口にするようになりました。しかし、これまで男性たちが女性を育ててこなかったのも事実。急にいわれても「駒」不足。女性の教育をよろしく！

WSFジャパンとは

WSFジャパン（女性スポーツ財団

日本支部）は、米国のWSFをお手本とし、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し、一九八一年二月に旗揚げされたボランティア団体です。

入会金 年会費

賛助会員…5万円 10万円（一口）

団体会員…5千円 1万5千円

個人会員…3千円 8千円

学生会員…3千円 5千円

女性スポーツを応援しています。

スポーツビジネス総合シンクタンク

SPORTS 21®